

JAPONISM

JAPONISM

Ukiyo-e Viewed through

JAPONISM

ジャポニスム

世界を魅了した浮世絵

JAPONISM

関連イベント

EVENT

新春の獅子舞

【出演】登渡神社登戸神楽囃子連
1月15日(土) 10:00～ 1階さや堂ホールで獅子舞がお迎えます。

講演会「ジャポニスムと浮世絵」

【講師】及川 茂 (日本女子大学名誉教授)
2月20日(日) 14:00～(13:30開場予定) / 11階講堂にて / 聴講無料 / 定員80名(当日12:00より1階にて整理券配布)

★「ジャポニスムをめぐる音楽 ～2台のペーゼンドルファーと共に～」(事前申込制)

第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール第2位の川口成彦氏が、フォルテピアノ(ペーゼンドルファー)によって展覧会にちなんだ作品を演奏します。

【出演】川口成彦(ピアノ)、中江早希(ソプラノ) 協力: 仲和ピアノ / 1月22日(土)、23日(日) いずれも14:00～(13:30開場予定) / 1階さや堂ホールにて / 入場無料(一般・大学生は、要本展チケット) / 定員100名

千葉交響楽団メンバーによるコンサート ～弦楽四重奏が奏でるジャポニスムの世界～

2月26日(土) 14:00～(13:30開場予定) / 1階さや堂ホールにて / 入場料1,000円、高校生以下無料(当日12:00より1階にて販売) / 定員100名 *当日は「託児サービス」(事前申込制)があります。

★空育®「JAL折り紙ヒコーキ教室」(事前申込制)

海外からの作品を空輸した日本航空の協力で開催する、折り紙ヒコーキ協会認定指導員によるワークショップです。
2月5日(土) 11:00～、14:00～ / 11階講堂にて / 参加費無料 / 対象: 小学生以上 / 各回定員10組(2名まで申込可)

市民美術講座

「ジャポニスムを通して浮世絵を視る」
【講師】田辺昌子 (当館副館長兼学芸課長)
2月6日(日) 14:00～(13:30開場予定) / 11階講堂にて / 聴講無料 / 定員80名(当日12:00より1階にて整理券配布)

「ジャポニスムとアメリカの画家たち」

【講師】山根佳奈 (当館主任学芸員)
2月27日(日) 14:00～(13:30開場予定) / 11階講堂にて / 聴講無料 / 定員80名(当日12:00より1階にて整理券配布)

★託児サービス(事前申込制)

子育て中の方も、安心してゆっくりと美術鑑賞をお楽しみください。保育士の資格を持ったベビーシッターがお子さまをお預かりします。
1月15日(土)、2月26日(土) 13:00～16:00

★さや堂パフォーマンスプログラム(事前申込制)

17世紀オランダで出版された「モンタヌ日本誌」に描かれた摩訶不思議な日本人と西洋人がお辞儀をする図像。緻密なリサーチと跳躍的な想像によって「あり得た(る)かもしれない歴史」を音楽にのせて紐解いていくレクチャー・パフォーマンス。

【出演】mamoru(レクチャー、MC)、So Oishi(DJ) ほか
2月11日(金・祝) 17:30～、12日(土) 14:00～ / 1階さや堂ホールにて / 有料

音声ガイド

ナビゲーター: 俳優 村岡希美さん
NHK朝の連続テレビ小説「花子とアン」の他、劇団「ナイロン100℃」「阿佐ヶ谷スパイダース」に所属し様々な舞台に出演されている村岡希美さんが、以前からお好きだという浮世絵を分かりやすく解説します。
貸出料金: 600円(税込)



村岡希美さん

【同時開催】

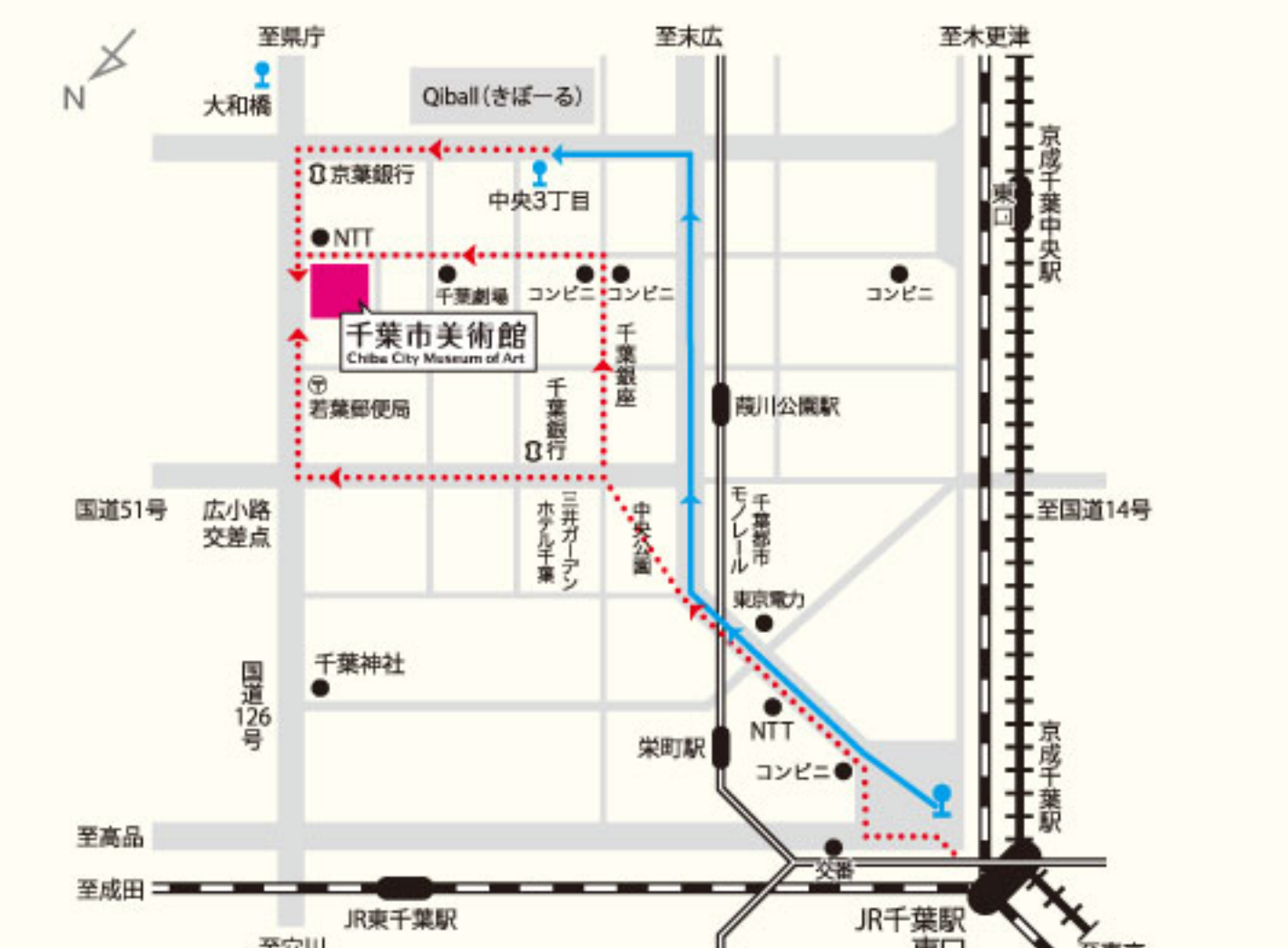
5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」
休室日: 第1月曜日
※「ジャポニスムー世界を魅了した浮世絵」展をご観覧の方は無料
関連イベント「ちばしび工房ーエッチング、はじめての銅版画体験」
講師: 瀧沢照晃(銅版画家) 2月23日(水・祝)
※詳細、申込方法は美術館ホームページをご確認ください。
4階こどもアトリエ「つくりかけラボ06 岩沢兄弟 | キメラ遊物園」
2022年1月13日(木)～4月3日(日) 休室日: 第1月曜日

【次回予告】

「第53回 千葉市民美術展覧会」 「千葉市美術館所蔵作品による 房総ゆかりの美術」
2022年3月12日(土)～3月31日(木)
「生誕100年 清水九兵衛 / 七代六兵衛」
2022年4月13日(水)～7月3日(日)
「つくりかけラボ07 植本一子 | あの日のことおぼえてる? (仮)」
2022年4月13日(水)～7月3日(日)

【アクセス】

JR千葉駅東口より
■徒歩約15分 ■バスのりば⑦より大病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分 ■千葉都市モノレール県庁前方面行「葦川公園駅」下車徒歩約5分
京成千葉中央駅東口より
■徒歩約10分
東京方面から車では
■京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く
※地下に機械式駐車場があります(車高155cmまで)。
※シェアサイクルスポットがあります。



千葉市美術館
Chiba City Museum of Art
〒260-0013 千葉市中央区中央3-10-8
Tel.043-221-2311(代表)
https://www.ccma-net.jp

ACCESS

開館時間: 10:00～18:00(金・土曜日は20:00まで) *入場受付は閉館の30分前まで

休館日: 2月7日(月)
観覧料: 一般 1,500(1,200)円、大学生 800(640)円、小・中学生、高校生は無料
※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料 ※(*)内は前売り、市内にお住まいの方の料金
※前売券はロソンチケット(Lコード: 35562)、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて2022年1月11日まで販売(1月12日は降は、当日券販売)。
○ナイトミュージアム割引: 金・土曜日の18:00以降にご入場の方は、観覧料が半額になります。
●本展チケットで5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

主催: 千葉市美術館 協力: JAPAN AIRLINES 協賛: サンエムカブー

2022
1.12-3.6
水

ジャポニスム Japonisme

江戸時代を通して大衆にとって身近な存在であった浮世絵版画は、明治時代に西洋からもたらされた“美術”という価値観に値するものとも気づかれることのないまま、大量に欧米に渡り、ジャポニスムと呼ばれる動向を導きました。



フィンセント・ファン・ゴッホ《少女の肖像「ラ・ムスメ」》
1868年 羽根ペンおよび筆ペン、鉛筆下書きにインク
プーシキン美術館蔵
Vincent Van Gogh, *Portrait of a Girl (La Mousmé)*, 1868,
The Pushkin State Museum of Fine Arts, 22



ジュール・シェレ《日本の巨匠展》のためのポスター
1890年 フォトリーフ多色刷 ジマーマ美術館蔵
Jules Chéret, *Poster for the Exposition des Maîtres Japonais*,
Collection Zimmerli Art Museum at Rutgers University, Museum Purchase with funds
from Minolta Corporation of America 1986.0465, Photo by Peter Jacobs

Ukiyo-e Viewed through Japonisme ジャポニスム

世界を魅了した浮世絵

19世紀後期～20世紀初めにかけて、大量に海を渡った日本の美術工芸品は、西洋の美意識に大きな影響を与え、ジャポニスムという動向として広がっていきます。中でも浮世絵版画は、多くの西洋画家たちに直接影響を与えたことが知られています。西洋の芸術家たちが浮世絵に出会った時、何を新しいと感じ、感動し、自らの芸術に取り入れようとしたのでしょうか。この展示会は、ジャポニスムの画家たちの作品が浮世絵から取り入れた視点をきっかけとして、浮世絵の特性と魅力を再発見しようとするものです。浮世絵の名品を中心に、欧米、ロシアからジャポニスムの作品を加えた約220点を展示する、これまでにないユニークなテーマの浮世絵展です。

※会期中展示替えを行います

【前期】1.12-2.6 【後期】2.8-3.6

※2月7日(月)休館

※館内にて新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っております。
・体調のすぐれない方の来館はご遠慮ください。
・咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒の徹底にご協力ください。
※出品作品、イベント等が変更になる場合があります。最新の状況はホームページをご確認ください。



歌川広重《名所江戸百景 京橋竹がし》安政4年(1857)
大判錦絵 ホノルル美術館蔵
Utagawa Hiroshige, "Bamboo Yards, Kyōbashi Bridge," from the series
One Hundred Views of Famous Places in Edo (Meisho Edo hyakkei),
1857, Honolulu Museum of Art, Gift of James A. Michener, 1976 (16822)

ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー《広い橋》
1878年 リトエント 町田市立国際版画美術館蔵
James Abbott McNeill Whistler, *The Board Bridge*,
1878, Litholint, Machida City Museum of Graphic Arts



水の都江戸では、隅田川を中心に江戸っ子の誇りの橋があり、その景観が愛されて浮世絵に多く描かれました。橋脚を大きくとらえる独特の構図が印象的です。



五雲季貞秀《東都両国ばし夏景色》
安政6年(1859) 大判錦絵3枚続 千葉市美術館蔵
Gountei Sadahide, *Summer View of Ryōgokubashi Bridge in Edo*,
1858, Chiba City Museum of Art



歌川国直《空飛ぶ鷹》
天保十一年(1840) 大判錦絵 個人蔵
Utagawa Hiroshige, "Eagle over the Hundred-Thousand Tsukuba Plain beyond
Susaki in Fukagawa," from the series *One Hundred Views of Famous Places
in Edo (Meisho Edo hyakkei)*, 1847, Private collection

鳥の眼 空飛ぶ浮世絵師

Bird's Eye View

周囲に高台や建物がなくても、浮世絵師は頭の中で自在に視点を高くして風景を描きました。この影響を受けて、西洋画でも俯瞰図が多く描かれるようになります。

色彩としての黒 Black as Color

黒＝墨は、浮世絵版画の色の中でも、最も重要で効果的な色とされています。西洋版画にも取り入れられた、黒い線と面の印象的な表現に注目します。

右＝マリ・ド・トゥール・ヌーヴォー・ロートレック《マダム・ジャンゴ》
1901年 油絵 個人蔵
Henri de Toulouse-Lautrec, *Madame Gagnon*, 1893, Collection Zimmerli
Art Museum at Rutgers University, Museum Purchase, Fifteenth
Anniversary Gift of the Rutgers College Class of 1958.73.009.001,
Photo by Peter Jacobs
左＝鈴木春信《夜更》
西郷の生(一)の巻 中華書局 東京国立近代美術館蔵
Suzuki Harunobu, *Woman Admiring Plum Blossoms at Night*,
c.1766, The Metropolitan Museum of Art, Fletcher Fund, 1929 (JP1506)



驟雨——自然・瞬間・風情

降る雨や雪を描く絵は伝統的な西洋画にはほとんどありませんでした。なぜ浮世絵は、自然が見せる一瞬の表情を、主題に取り上げてきたのでしょうか。

Sudden Shower; Nature, Moment, Atmosphere



喜多川歌麿《大木の雨宿り》寛政11-12年(1799-1800)頃 大判錦絵3枚続 東京国立博物館蔵(後期展示)
Kitagawa Utamaro, *Taking Shelter from the Rain under a Big Tree*, c.1799-1800, Tokyo National
Museum A-10569_3538, Formerly owned by Henri Vever, Image: TNM Image Archives



フェリックス・ヴァロットン《わか雨—強烈なパリ》より
1894年 ジンコグラフ ジマーマ美術館蔵
Félix Vallotton, "L'averse," Plate VII from *Paris intense*,
1894, Collection Zimmerli Art Museum at Rutgers University,
Gift of Edward T. McClellan 74.035.001, Photo by Peter Jacobs

大インパクト Impact of 浪 "The Great Wave"

葛飾北斎のこの作品は、世界で最も有名な浮世絵と言えるでしょう。そのインパクトは、西洋の芸術活動に大きな影響を与えました。



葛飾北斎《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》天保2-4年(1831-33)頃 大判錦絵 個人蔵
Katsushika Hokusai, "The Great Wave off the Coast of Kanagawa," from the series
Thirty-Six Views of Mt. Fuji (Fugaku sanjūrokkei), c.1831-33, Private collection

イワン・ビリーピン《アレクサンダー・プーシキン著『サルタン王物語』挿絵》
1905年初版 国立国会図書館国際子ども図書館蔵(前期展示)
Ivan Bilbilin, Illustration from *The Tale of Tsar Saltan* (by Alexander Pushkin),
1905, International Library of Children's Literature, National Diet Library

The Proud Scenery of Edo; River, Bridge, and Boat

江戸っ子の誇り

——水の都・橋と船のある風景